

市民と議会との意見交換会で

出された意見への対応

平成30年8月18日に市民文化会館で開催した市民と議会との意見交換会で、参加した市民の方々からいただいたご意見、ご要望のうち、その後、市議会で取り上げられたものや、直接担当部局へ伝えられたものについて報告します。

建設産業委員会

▼ラウンドアバウト（環状交差点）について

問 交差点のラウンドアバウト化の取り組みについて、市ではどうなっているのか。

答 ラウンドアバウトについては、信号を減らすことでかえって事故が増えることも困るので、市は慎重に考えていると聞いています。

対応 平成30年12月定例会において一般質問を行いました。整備については、メリット・デメリットを踏まえた上で、必要性や費用対効果を検証し、実施の可否を検討する必要があると考えています、とのことでした。

▼公共交通について

問 せび乗りやすいバスを考えてほしい。布袋地区からフラワーパークに

行くのに大変だ。年に何回か、月に何回かは、バスを出してほしい。

答 今後10年間、公共交通は現状のままていくというのが、市の現段階の方針です。

対応 平成30年12月定例会において一般質問を行いました。フラワーパーク江南へのアクセスとして、路線バスを延長することは、採算性の問題もあり、非常に厳しいものと考えています。しかし、花の見頃に限定したアクセスについては、シャトルバスなどで対応することが望ましいと考えますので、国と協議しながら実施の可能性について検討していきます、とのことでした。



▼防犯について

問 空き家が多くなっている。このような状況を、江南警察署と市でどのように情報交換を行っているのか。

答 地域の防犯パトロールは非常に効果があり、犯罪件数が極端に減ったとの報告もあります。市と警察で協力して取り組んでいます。

対応 平成30年9月定例会において一般質問を行いました。市では、平成20年3月に江南市安全なまちづくり条例を制定しています。これを受けて、平成21年度より江南市安全なまちづくり連絡協議会を設立し、地域安全パトロール隊やその他の関係団体や警察などと密接に連携し、地域住民の安全で安心なまちづくりを推進するよう努めています、とのことでした。



▼防災・減災について

問 防災・減災につながる、市の木曾川氾濫時のハザードマップはあるのか。また、防災行政無線は市内全域に

届くようになっているのか。

答 以前は、山那切れの洪水を想定したハザードマップでしたが、新しい木曾川洪水ハザードマップができています。木曾川氾濫時には市内全域で3〜5mの浸水に覆われる予測となっています。

防災行政無線は市内全域にあります。防が、聞こえにくい場合があります。防災無線が聞こえたら、テレビをつけたり、あんしん・安全ねっとメールを見たり、自分で情報収集をしてください。

対応 平成30年9月定例会において一般質問を行いました。現在、防災の範囲が地震災害以外にも、台風や大雨・洪水災害、ミサイルやテロなど国民保護の関係など、広くなったことから、新たな防災ハンドブックを作成する必要があると考えており、その中で洪水ハザードマップの掲載についても検討していきたいと考えています、とのことでした。



▼企業誘致について

問 企業が求めるのは、インターが近いこと、バイパスや国道があることで、市では国道155号がある曾本地区と小折地区が企業誘致の可能性がある。企業の立場で考えて企業誘致をすることが必要だ。曾本、小折地区に企業誘致するにも、農業するにも、五条川の氾濫対策が待ったなしになっているので考えてほしい。

答 二子山付近を開発して企業誘致する場合も、田に入る大量の水をどう処理するかが今後の重要なポイントなので、よく考え、市と一緒に進めていきます。

対応 平成30年12月定例会において一般質問を行いました。具体的な土地利用に関する方針を検討する中で、開発により、雨水の流出量がどれだけ増加するかを算出した上で、その増加分に対する雨水貯留浸透施設を設置するなど、の対策を講じることになると考えます、とのことでした。

厚生文教委員会

▼インフルエンザの予防接種の助成制度について

問 子どもへのインフルエンザの予防接種の助成制度がないために、子どもがかかると家族中がインフルエンザにかかってしまうので、助成制度をつくってほしい。

答 65歳以上の高齢者に対する助成制度はありません。近隣市町では、北名古屋市が助成制度を設けているため、市に対して要望していきたいと思えます。

対応 平成30年9月定例会の一般質問において、市に対して要望しました。市としては、毎年、多額の財政負担を伴うことから、国や近隣市町の動向をみながら検討していきたいと考えています、とのことでした。



▼障害者の就労支援について

問 就労継続支援のA型事業所およびB型事業所について、国の制度改正の影響を受けて閉鎖する事業所もあると聞いている。このような状況の中で、働きたくても働けない障害者の方もいるかと思うが、市としてはこの問題にどうしていくのか。

答 こういった現状課題があるので、問題提起をしていきたいと思えます。

対応 平成30年9月定例会において一般質問を行いました。市は今後、県が実施する障害福祉サービス等情報公表制度に基づき、各事業所の財務状況や運営情報などを県が公表するので、それらの情報を基に必要に応じて事業所を訪問し、現状の把握に努めていきます、とのことでした。

のことでした。

総務委員会

▼マイナンバーカード申請用写真機について

問 市役所本庁舎にマイナンバー申請用の証明写真機が設置されているが、操作方法が分からず困っている人を見掛けた。市職員に操作方法を教えてもらえたらありがたい。

答 操作方法が分からず戸惑う人もいます。市民サービス課の窓口対応の職員に助けてもらえるように伝えます。

対応 市の担当部局に対して伝えました。お困りの際は、気軽に市民サービス課の窓口職員にお声掛けください。



▲市役所1階の証明写真機

▼新図書館について

問 新図書館は自宅から遠いので、公共施設などに気軽に行ける分館（小さな図書館）を造ってほしい。

答 新図書館の床面積は約3000㎡程度と想定されます。一方で、公共施設等総合管理計画で公共施設の総延床面積の約14%削減を掲げています。そのことを踏まえて、新図書館構想を考えたかなければなりません。

新図書館をどのようなものにしたのか、さまざまな要望があるかと思えます。現在、市の策定委員会の中で議論されているところです。

対応 平成30年9月定例会において一般質問を行いました。策定委員会の中でも図書館が布袋駅東複合公共施設へ移転することによって、市の北西部の住民の利便性は懸案となっています。公共施設等総合管理計画に定められている施設総量の縮減の観点から、新たな分館を設置するという事は難しい状況にあると考えていますが、江南市の図書館サービスの在り方については、図書館基本計画策定の中で検討を行っています。公民館など既存の施設を利用しながら、子どもから高齢者まで幅広い市民が身近で気軽に利用できるよう、市内全域での図書館サービスについて検討していきたいと考えています、とのことでした。

